



## 第18回 地震火山こども サマースクール in 熊本県益城町

# 熊本地震で見つけた 大地のヒミツ



8月9日と10日の2日間、交流情報センターを主会場に「第18回地震火山こどもサマースクール in 熊本県益城町」が開催されました。サマースクールには33人の子どもたちおよび、子どもたちへの指南役として、国内の大学教授や学校教諭などスペシャリストが参加し、地表地震断層の見学や実験などを行いました。

「地震火山こどもサマースクールとは」  
①研究の最前線にいる専門家が、こどもの視点にまで下りて、地震・火山現象のしくみ・本質を直接語る。

②災害だけでなく、災害と不可分の関係にある自然の大きな恵みを伝える。

の2つの目的のために、日本地震学会と日本火山学会が中心となっており、1999年からほぼ毎年夏休みに全国各地で開催してきた恒例行事です。2008年から、

災害と自然の恵みを実感できる「ジオパーク」の運動が国内でスタートしたことをきっかけ、2011年から日本地震学会も加わって、実施しています。「地震火山こどもサマースクール」ホームページから抜粋

### 潮井神社 (布田川断層)

8月9日は、杉堂にある潮井神社を訪れました。

熊本地震で、社殿や参道の階段などが倒壊するなど大きな被害を受けてしまった潮井神社。

布田川断層が走るこの一帯では、地表地震断層とあって、本来ならば地中に存在する断層が地表に現れ、誰でも容易に見ることができるようになっています。

子どもたちは、被害の状況に驚きながらもしっかりと地表地震断層に見入り、真剣に津森神宮の甲斐喜三男宮司の話聞いていました。

